

里山と文化・伝統

テーマ：里地里山のくらしと文化

趣旨

食・農と環境の現場が里地里山にあります。私達の暮らしが永続できるための、持続可能な社会の構築を考えると、食・農・環境と文化を考える視点は欠くことが出来ません。里地里山の生活の基盤には水源がそして、谷津田があります。その暮らしには収穫があり、文化があります。里地里山の保存と開発の問題は、森を守り森を育てることを選ぶか、あるいは、そこを開発してもっと利便性の高い暮らしを求めるのかの選択でもあります。

歴史的には、縄文的なくらしから始まって、江戸、明治、そして現代までに変わってきたわたくしたちの暮らしを振り返り、景観に配慮したこれからの里地里山の保存と創出を文化・伝統と言う目線から考える良い機会でもあります。

古くて新しい、地域の文化資源、自然資源などをもっと知って、まちおこし、地域おこし、さらに観光資源にまでなるような、新たな提案に発展するような話し合いにしたいと願っています。

スケジュール

10:00~10:40	主催者挨拶、副知事基調講演	
10:40~10:50	趣旨説明	
10:50~11:20	現代社会における景観の意味と里山保全	西野 元
11:20~11:40	地域資源の再発見とブルー・グリーンツーリズム	小川信次
11:40~12:00	里山フィールドミュージアム	島立理子
12:00~13:00	昼食、交流	
13:00~13:20	安久山の里地里山と文化	平山喜人
13:20~13:40	地域社会と野生生物	小島孝夫
13:40~14:40	パネルディスカッション 「里山のくらしと文化」	
	コーディネーター	西野 元
15:00~15:45	各分科会報告（各3分）	第5分科会発表者 加藤賢三
=====		
16:00~16:30	パネル討論「里山に託す私たちの未来、その現状と展望」	
16:30	閉会	

講師及びパネラー

西野 元 国土館大学文学部
小川信次 (財)千葉県建設技術センター
島立理子 千葉県立中央博物館
平山喜人 飯高の巨樹と里山物語
小島孝夫 成城大学文芸学部

メンバー：

分科会名 文化・伝統分科会
代表 加藤賢三
記録係 田桐義啓
実行委員 加藤賢三、平山喜人、田桐義啓
当日スタッフ 桑波田 恵
当日参加 千葉県文化財課